

**令和6年度福島県立ふたば未来学園中学校
「ニュージーランド研修」(修学旅行)業務仕様書**

1 目的

この仕様書は、令和6年度福島県立ふたば未来学園中学校「ニュージーランド研修」(修学旅行)業務(以下、本事業)の交通・宿泊等旅行計画の立案・運營業務に関する基本的な事項を定め、この業務の円滑な実施を図ることを目的とする。

2 本事業の概要

6年間の中高一貫教育として復興を担う人材育成はもとより、国際的に活躍できるグローバルリーダーの育成を目指し、総合的な学習の時間「未来創造学」、学校設定科目「グローバル・スタディ科」等で、地域課題解決のための探究活動を行い、福島の魅力の世界に発信することに取り組んでいる。本研修では、中学3年生で集大成として海外研修で英語を用いて福島を発信し、異文化の同世代に伝えていくための方法や内容を中学生自身が組み立てていく過程を通じて資質・能力を育成するとともに、海外の方との情報のギャップやグローバルコミュニケーション力等についての課題意識を、高校段階の学習に繋げていく。

(1) 研修概要

① 派遣期間

令和7年3月4日(火)から3月10日(月) 7日間

② 参加予定人員

生徒 40名(中学3学年 男子19名・女子21名)

引率教員 6名

③ 研修行程

月日	行程	宿泊場所	食事
(日本時間) 3月4日(火)	ふたば未来学園から空港までは貸切バス2台で移動 ※NZ90便 成田→オークランド 18:45-09:20(3/5)	機中泊	昼:各自 夕:機内食
3月5日(水)	オークランド博物館(移民と歴史についてのレクチャー 日本語ガイドあり) オークランド動物園(特有の動物、生態についてのレクチャー) (終日専用車利用)	ホテル	朝:機内 昼:準備 夕:準備
3月6日(木)	終日学校交流 ・オリエンテーション ・学校の紹介・文化交流や現地授業参加など ホテル～学校間は専用車利用 夕刻より生徒はホームステイ	ホームステイ (引率:ホテル)	朝:準備 昼:生徒各自 引率準備 夕:生徒各自 引率準備
3月7日(金)	終日学校交流 生徒はホストファミリーと登下校 現地授業参加など (引率はホテル～学校間をタクシー利用) 夕刻より生徒はホームステイ	ホームステイ (引率:ホテル)	朝昼夕:ホーム ステイ (引率:朝昼夕: 準備)

3月8日(土)	終日：ホストファミリーと過ごす	ホームステイ (引率：ホテル)	朝昼夕：ホーム ステイ (引率：朝昼夕： 準備)
3月9日(日)	ホームステイ終了後 オークランド市内班別自主研修	ホテル	朝：ホームステイ 昼：各自 夕：準備 (引率：朝昼 準備)
3月10日(月)	専用車でホテル～空港へ ※NZ99 オークランド→成田 10:05-17:00 到着後、貸切バス2台にて学校へ		朝：準備 昼：機内食 夕：各自

(2) 研修内容

- ① 同世代の生徒との学校交流（2日程度）※相手校の受け入れ状況によるが、木・金で実施予定
ニュージーランド・オークランドの連携校 Blockhouse Bay Intermediate を訪問し、プレゼンテーション、意見交換、授業参加等を行う。未来の社会を作る人材としてお互いに研鑽する。現地の中学生との交流活動において、福島の実況を伝えることを通して、福島の安全・再生の歩みを正しく理解してもらう。
- ② 異文化生活体験ファームステイ・ホームステイ（4日程度）
異文化の家庭の中での生活体験を通じて、ニュージーランドの文化を体感するとともに、インフォーマルなコミュニケーションを深めていく研修を行う。
- ③ 異文化体験等学習プログラム（1日程度）
ニュージーランドの雄大な自然や、多くの民族を抱える多様化した社会ならではの文化や、多民族国家としての葛藤を乗り越えてきた歴史への理解を深めていく研修を行う。

3 委託内容

(1) 上記研修概要に基づく派遣場所への渡航、国内移動、現地移動、宿泊に必要な手配を行うこと。

- ① 業務の実施に当たっては、行程において適切な指示を行い、業務全体が円滑に実施されるように十分留意すること。
- ② 旅行中の事故防止及び不測の事態における対処に最善の努力を講じること。
- ③ 航空券は直行便とし、航空会社は LCC を除き、渡航の座席については参加者全員エコノミークラスとすること。
- ④ 宿泊先については、下記の通り手配し、委託料の中から宿泊費用の支払いをすること。
 - (A) 生徒の宿泊先
 - ・研修先へのアクセスに差し支えの無い立地のホテル（ツインルーム可）を確保すること。
 - ・ホテルの宿泊部屋については、入り口及び窓等に施錠できること。また、温水が出るシャワールームを確保すること。
 - (B) 引率教員の宿泊先
 - ・生徒の宿泊先と同じホテル（シングルルーム）を確保すること。
 - ・宿泊部屋については、入り口及び窓等に施錠できること。また、温水が出るシャワールームを確保すること。
 - ・部屋又はホテル内に Wifi 利用環境があること。
- ⑤ 添乗員が同行し、訪問先で支障がないように手配を行うこと。
- ⑥ 引率教員が、メール等で日本と連絡を取ることができるようモバイル Wifi ルーター 6 台準備すること。
- ⑦ 異文化体験等学習プログラムでは現地文化と観光的魅力の両立について説明できる現地日本語ガイド

を手配すること。

- ⑧ 研修行程に特に記載のない移動手段については、公共交通機関を利用することとし、現地で各自が支払うこととする。なお、下記については専用車を手配し委託料の中から支払いをすること。
 - ・国内における学校空港間往復
 - ・現地における空港宿泊ホテル間往復
 - ・現地におけるホテル学校間往復
 - ・現地における見学や体験プログラム実施時の公共交通機関の利用が困難な場合
- ⑨ オークランドの Blockhouse Bay Intermediate 校へは交流依頼としてはあるが、交流が可能な日に関しては詳細を確認し、現地と必要に応じて調整を行うこと。
- ⑩ 参加生徒及びその保護者、引率教員に対し、事前に「旅行のしおり」を配付すること。
- ⑪ ふたば未来学園と旅行者・引率教員及び生徒との緊急連絡体制を確立し、連絡手段として現地で使用できる携帯電話2台を準備すること。
- ⑫ 出国税・空港税・NZeTA 取得料等の諸費用についても委託料から支出すること。
- ⑬ 十分な感染症対策がなされた上で研修を実施できるようにすること。また、出入国の際に必要なとってくる検査等を確保すること。
- ⑭ 研修行程に特に記載のない食事については、各自で手配および支払うこととする。なお、記載のあるものについては手配し委託料の中から支払いをすること。

4 研修に係る経費

- (1) 全行程の経費のうち、参加生徒の自己負担3,004,480円を除いた額を委託料と定める。全行程とは、3月4日に参加者が学校に参集してから3月10日に学校で解散するまでとする。
- (2) 生徒の自己負担金分は受託者において受理すること。生徒自己負担金は受託者の指定する時期、方法により参加者から直接受理するものとする。

5 成果品

- (1) 「ニュージーランド研修」(修学旅行) 業務完了報告書(別紙様式)
- (2) 旅行等手配の内訳書(行程表、宿泊先手配、交通手段の手配、研修先の手配、宿泊者数、キャンセル料金等の根拠が分かる資料)(様式任意)
- (3) 配付済の「旅行のしおり」

6 契約内容の変更等

- (1) 参加者数の変更等により、契約金額に変更が生じた場合は、変更契約を締結するものとする。
- (2) 本仕様書に定められた業務内容の実施に当たっては、追加の費用負担が生じた場合においても、それが仕様を満たすために当然必要と認められるものについては、原則として受託者の負担とする。

7 その他

- (1) 受託者はここに記載されていない事項についても現場の状況に応じ、誠意を持って対応しなければならない。
- (2) 受託者は、出発までに参加予定者とその保護者に対して、研修行程、安全対策、保険、外貨両替等に関する説明会を実施すること。
- (3) 本仕様書に定めのない事項及び本仕様書に疑義が生じた場合には、委託者と受託者が協議して定めるものとする。